

利府町

RIFU Road Development Plan

道路整備計画

概要版



道路整備計画の概要

策定の背景と目的

本町では、急激に進行する人口減少・少子高齢化、これによる労働力人口の減少が与える経済に対する影響等の厳しい社会情勢を乗り越えるため、利府町総合計画に基づき、新たな土地利用や企業誘致等に取り組むことで人口増加を図り、町民が将来にわたって幸せを実感し続けられる「持続可能なまち」への発展を目指しています。

この持続可能なまちづくりのためには、基本的な都市基盤である道路を計画的に整備・改良することにより、地域内外の移動を円滑にし、町民の生活の質を向上させることが重要となります。

そのため、利府町道路整備計画(以下「本計画」という。)を策定し、将来のまちづくりを見据えた道路網の構築、道路における課題の解消を計画的に行おうとするものです。

計画の位置づけ

本計画は、宮城県の計画を参考にしつつ、上位計画である総合計画や都市マスタープラン等に即した計画として、将来の道路網のあるべき姿を示すものです。

対象区域等

本計画は、利府町全域を対象区域とし、国道・県道を含む全ての道路を対象とします。

また、本計画は新規路線の整備、既存路線の拡幅や歩道整備等を対象とし、利府町道路舗装長寿命化計画に基づいて行われる道路の補修や舗装改良等については、対象外とします。

なお、本計画において設定する新規路線については、道路の持つ役割を踏まえ、関係機関と整備主体を含めた検討を行うものとします。

検討フロー

利府町の現状と道路に関する課題の整理

町内における社会経済状況や道路網の現状および道路利用者からのニーズ等を把握し、関連計画との整合を図りつつ道路に関する課題整理を行う。

道路整備の目標と道路に必要な役割の設定

道路の課題を解消するため目指すべき道路整備の目標を設定する。
また、目標を達成するために必要となる具体的な道路の役割を設定する。

整備路線・区間の選定

目標を達成するために新規整備または改良が必要と考えられる路線・区間を選定する。

整備優先度の決定

整備路線・区間について、
①重要度、②改善度、③実現度の3つの観点から客観的な整備優先順位を決定する。

道路整備計画策定後の取組方針の検討

道路整備計画策定後の取組み方針を検討し、PDCAサイクルによる進行管理を整理する。

利府町の現状と道路に関する課題

利府町の現状

社会経済

- ▷ 人口は増加傾向であるが、少子高齢化も進行。
- ▷ 第3次産業が町内の約7割を占めており、人口増加に伴い就業者が増加傾向。
- ▷ グランディ・21（宮城県総合運動公園）への観光入込客が多い。

地域のつながり 移動

- ▷ 仙台市、塩竈市、多賀城市と本町間での移動が8割を占め、特に仙台市への移動が多い。
- ▷ 自動車利用による移動がほとんどで、自動車依存度が高い。
- ▷ 他市町村から町内へ買い物にくる人が多くなっており、商圏が拡大している。

道路交通

- ▷ (主) 仙台松島線を中心に周辺道路ともに交通量が多い。
- ▷ 町中心部の(主) 仙台松島線や周辺道路上で5カ所が主要渋滞箇所位置づけ。
- ▷ (主) 仙台松島線の交通のうち利府町を通過するだけの交通が4割以上。
- ▷ 平日の朝夕ピーク時は、(主) 仙台松島線および町中心部で速度低下が顕著。
- ▷ 都市計画道路は、(都) 神谷沢春日線と(都) 大町線に未整備区間が残る。

道路利用者 ニーズ

- ▷ 道路利用への満足度は半分程度。幹線道路への不満が最も高い。
- ▷ 公共交通の利便性に対する満足度が低い。
- ▷ (主) 仙台松島線を中心に周辺施設、しらかし台やグランディ・21（宮城県総合運動公園）方面への混雑解消に対する要望がみられる。
- ▷ 混雑を避けるため農道や狭い道路へ迂回する自動車がみられ危険という意見がみられる。
- ▷ 生活道路の舗装の劣化、道路の冠水、歩道整備への意見が寄せられている。



関連計画における道路の将来像

▷【総合計画】

重点戦略に掲げる「快適な都市空間をつくる」手段として公共交通の充実、道路網の整備を図る。

▷【都市マスタープラン】

定住・産業・交流都市を骨格とする将来都市構造を掲げ、円滑な移動を支える道路ネットワークを形成する。町内5カ所を市街化検討ゾーンに設定しており、本町のさらなる発展に向けて開発整備を検討。

▷【地域公共交通計画】

公共交通ネットワークの形成、公共交通の利用環境の充実、持続可能な基盤づくりを目標に掲げている。

▷【宮城の道づくり基本計画・宮城県道路整備プログラム】

安全・活力・生活・管理の4つの基本目標をもとに整備を進める。



道路に対する課題

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| ① (主) 仙台松島線の混雑 | ⑤ 通学路等歩行者が多い区間の歩道整備 |
| ② 混雑を回避するための農道や狭い道路への迂回 | ⑥ 将来の開発計画を踏まえた道路整備の検討 |
| ③ (主) 仙台松島線と交差する道路の混雑 | ⑦ 公共交通の利便性を向上させる道路整備の検討 |
| ④ グランディ・21（宮城県総合運動公園）等のイベント開催時の混雑 | ⑧ 団地等の生活道路の維持管理 |

道路整備の目標と道路に必要な役割

○ 道路の課題

- ①(主)仙台松島線の混雑
- ②混雑を回避するための農道や狭い道路への迂回
- ③(主)仙台松島線と交差する道路の混雑
- ④グランディ・21(宮城県総合運動公園)等のイベント開催時の混雑
- ⑤通学路等歩行者が多い区間の歩道整備
- ⑥将来の開発計画を踏まえた道路整備の検討
- ⑦公共交通の利便性を向上させる道路整備の検討

○ 道路整備の目標

- 目標1**
地域活力を向上させる幹線道路網の形成
- 目標2**
地域間や都市間の円滑な交通移動の確保
- 目標3**
安心安全な防災道路の機能強化
- 目標4**
人にやさしい交通利用への対応
- 目標5**
まちと調和する道路緑化の保全
- 目標6**
公共交通サービスの利用を促進

○ 道路に持たせるべき役割

- 隣接する都市間の広域的な道路ネットワークの形成
- 産業活動を支える道路ネットワークの形成
- 町内の日常生活を支える道路ネットワークの形成
- 渋滞・混雑の軽減
- 町内の地域間や隣接都市への道路交通の円滑化
- 交通事故を防ぐ道路空間の形成
- 緊急輸送道路の防災機能の向上
- 歩行者・自転車が利用しやすい生活道路
- 障がい者や高齢者等多様な利用者に配慮した道路空間の形成
- 周辺環境との調和に配慮した道路緑化の保全
- 公共交通(バス)の運行支援・利用促進
- パークアンドライド等多様な公共交通サービス利用への転換を促進

なお、課題「⑧団地等の生活道路の維持管理」については、「利府町道路舗装長寿命化計画」で検討されているため、本計画では検討対象外とします。

道路整備の目標を達成するために
整備すべき路線・区間を選定

整備優先度

整備優先度評価の考え方

選定した整備路線・区間について、最も効率的・効果的な道路整備を進めるために、優先的に整備すべき路線・区間の評価を行いました。

評価にあたっては、「重要度」「改善度」「実現度」の3つの観点から客観的に整備優先度を決定しました。

整備優先度評価の考え方

3つの観点から評価

重要度

道路利用者が
どのような道路を
必要としているか

改善度

整備することで
どのくらい課題が
改善されるか

実現度

事業費や地形状況等を
踏まえた整備の
実現性はあるか

総合評価

「重要度」×
「改善度」×「実現度」を
かけ合わせ
総合的に評価

総合評価が高い
路線・区間は
整備優先度が
高いと評価

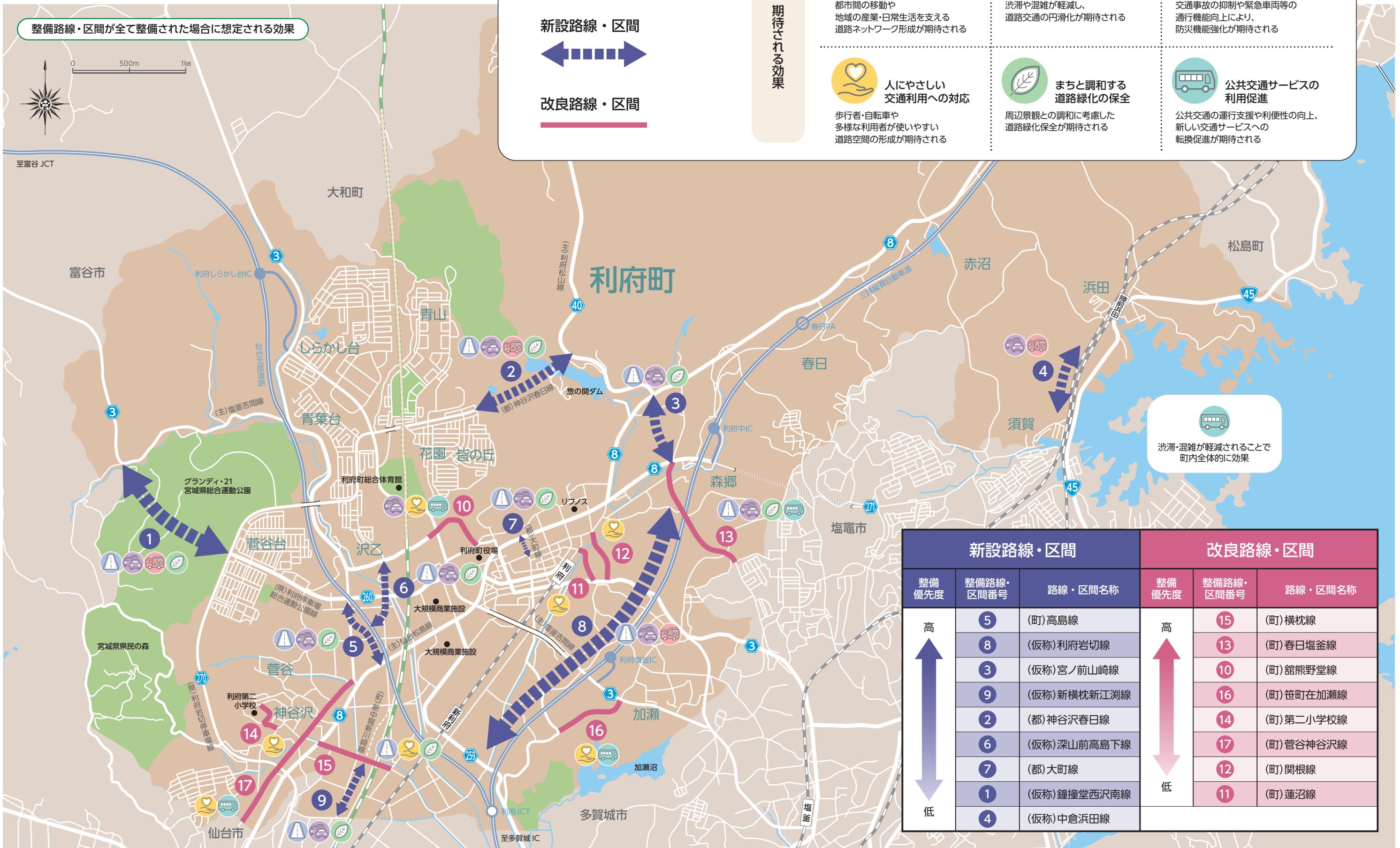
整備路線・区間

選定結果

新設整備について9路線・区間(番号:①～⑨)、改良整備について8路線・区間(番号:⑩～⑰)の合計17路線・区間を選定しました。選定した主な理由と整備効果については記載のとおりです。

新設路線・区間

    ① (仮称) 鐘撞堂西沢南線／延長約1,300m 整備内容 ○(県)利府停車場総合運動公園線と(主)塩釜吉岡線を接続する新設路線・区間の整備 期待される主な効果 ○(県)利府停車場総合運動公園線と(主)塩釜吉岡線の接続による広域ネットワークの形成 ○緊急輸送道路や救急医療施設へのアクセス性向上による防災機能向上 ○イベント渋滞の緩和 ○前後区間と調和した道路緑化	   ⑤ (町) 高島線／延長約700m 整備内容 ○(町)高島線の線形変更による新設路線・区間の整備 期待される主な効果 ○(町)新中堀新川崎線や(主)塩釜吉岡線等と一体となった南北ネットワークの形成と円滑な交通移動の確保 ○新市街地の形成 ○前後区間と調和した道路緑化
    ② (都) 神谷沢春日線／延長約1,000m 整備内容 ○(都)神谷沢春日線における未整備区間の整備 期待される主な効果 ○(主)利府松山線と(県)利府岩切停車場線の接続による広域的なネットワークの形成および円滑な交通移動の確保 ○(主)仙台松島線および(主)塩釜吉岡線の渋滞・混雑の軽減 ○緊急輸送道路への接続や救急医療施設へのアクセス性向上による防災機能向上 ○前後区間と調和した道路緑化	   ⑦ (都) 大町線／延長約200m 整備内容 ○(都)大町線における未整備区間の整備 期待される主な効果 ○町内の生活を支える道路ネットワークの形成 ○円滑な交通移動の確保 ○前後区間と調和した道路緑化
   ③ (仮称) 宮ノ前山崎線／延長約700m 整備内容 ○(主)利府松山線と(町)春日塩釜線を接続する新設路線・区間の整備 期待される主な効果 ○(主)利府松山線と(町)春日塩釜線の接続による広域ネットワークの形成および地域間の円滑な交通移動の確保 ○新市街地の形成 ○前後区間と調和した道路緑化	   ⑧ (仮称) 利府岩切線／延長約3,300m 整備内容 ○(主)仙台松島線の代替路となる新設路線・区間の整備 期待される主な効果 ○(町)春日塩釜線と(県)加瀬沼公園線の接続による広域ネットワークの形成 ○(主)仙台松島線の渋滞・混雑の軽減 ○緊急輸送道路や救急医療施設へのアクセス性向上による防災機能向上
  ④ (仮称) 中倉浜田線／延長約700m 整備内容 ○内陸部への避難路となる新設路線・区間の整備 期待される主な効果 ○地域間の円滑な交通移動の確保 ○沿岸道路のダブルネットワークによる防災機能向上	   ⑨ (仮称) 新横枕新江湊線／延長約600m 整備内容 ○(町)新中堀新川崎線と接続する新設路線・区間の整備 期待される主な効果 ○(町)新中堀新川崎線や新設路線・区間⑤等と一体となった南北ネットワークの形成と円滑な交通移動の確保 ○新市街地の形成 ○前後区間と調和した道路緑化



凡例

新設路線・区間

改良路線・区間

期待される効果

地域活力を向上させる幹線道路網の形成
都市間の移動や地域の産業・日常生活を支える道路ネットワーク形成が期待される

人にやさしい交通利用への対応
歩行者・自転車や多様な利用者が使いやすい道路空間の形成が期待される

円滑な道路交通移動の確保
渋滞や混雑が軽減し、道路交通の円滑化が期待される

まちと調和する道路緑化の保全
周辺景観との調和に考慮した道路緑化保全が期待される

防災道路の機能強化
交通事故の抑制や緊急車両等の通行機能向上により、防災機能強化が期待される

公共交通サービスの利用促進
公共交通の運行支援や利便性の向上、新しい交通サービスへの転換促進が期待される

渋滞・混雑が軽減されることで町内全体的に効果

新設路線・区間			改良路線・区間		
整備優先度	整備路線・区間番号	路線・区間名称	整備優先度	整備路線・区間番号	路線・区間名称
高 低	5	(町) 高島線	高 低	15	(町) 横枕線
	8	(仮称) 利府岩切線		13	(町) 春日塩釜線
	3	(仮称) 宮ノ前山崎線		10	(町) 館熊野堂線
	9	(仮称) 新横枕新江渕線		16	(町) 笹町在加瀬線
	2	(都) 神谷沢春日線		14	(町) 第二小学校線
	6	(仮称) 深山前高島下線		17	(町) 菅谷神谷沢線
	7	(都) 大町線		12	(町) 関根線
	1	(仮称) 鐘撞堂西沢南線		11	(町) 蓮沼線
	4	(仮称) 中倉浜田線			

改良路線・区間



10 (町) 館熊野堂線／延長約600m

整備内容

- 道路の拡幅
- 右折レーンの設置
- 歩道整備

期待される主な効果

- 円滑な交通移動の確保
- 歩行者、自転車にやさしい道路空間の創出
- バスの走行性向上



14 (町) 第二小学校線／延長約300m

整備内容

- 歩道の整備

期待される主な効果

- 歩行者、自転車にやさしい道路空間の創出



11 (町) 蓮沼線／延長約400m

整備内容

- 道路の拡幅
- 橋梁の架け替え
- 歩道の整備

期待される主な効果

- 歩行者、自転車にやさしい道路空間の創出



15 (町) 横枕線／延長約700m

整備内容

- 道路の拡幅
- 歩道の整備

期待される主な効果

- 新市街地の形成
- 歩行者、自転車にやさしい道路空間の創出
- 前後区間と調和した道路緑化



12 (町) 関根線／延長約500m

整備内容

- 道路の拡幅
- 橋梁の架け替え
- 歩道の整備

期待される主な効果

- 歩行者、自転車にやさしい道路空間の創出



16 (町) 笹町在加瀬線／延長約700m

整備内容

- 歩道の整備

期待される主な効果

- 歩行者、自転車にやさしい道路空間の創出
- バスの走行性向上



13 (町) 春日塩釜線／延長約1,100m

整備内容

- 道路の拡幅

期待される主な効果

- 新設路線・区間③や⑧との接続による広域ネットワークの形成および円滑な交通移動の確保
- 前後区間と調和した道路緑化
- バスの走行性向上



17 (町) 菅谷神谷沢線／延長約1,600m

整備内容

- 歩道、自転車通行帯の整備

期待される主な効果

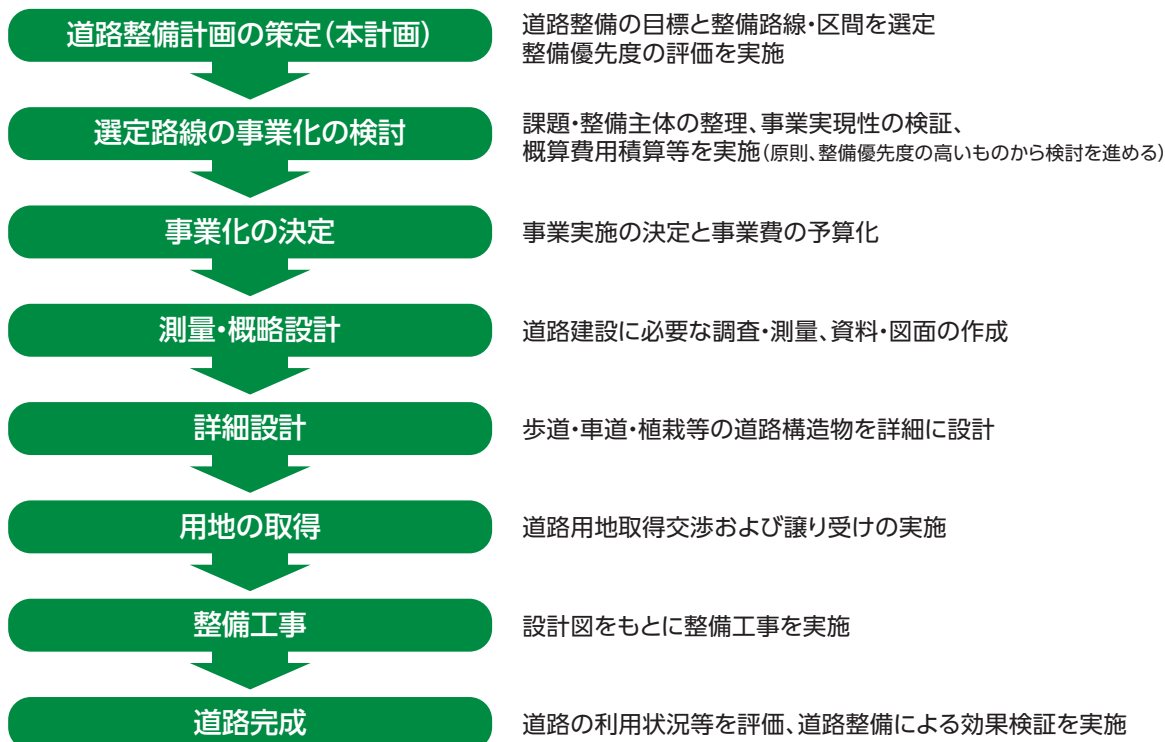
- 歩行者、自転車にやさしい道路空間の創出
- バスの走行性向上

道路整備計画策定後の取組方針

本計画に基づく道路整備方針

本計画において選定した路線・区間について、それぞれが持つ役割を踏まえ、事業化の際には関係機関を交えた整備主体の検討や課題の整理、実現性の検証、概算費用の積算等を改めて行ったうえで、効率的かつ効果的な道路整備を進めていきます。

道路整備方針



道路整備の進行管理と計画の見直し

本計画で位置づけられた路線・区間の整備は、効率的かつ効果的に進めていけるよう事業化の検討や進捗を確認しながら、PDCAサイクルに準じた進行管理を行います。

なお、定期見直しについては、利府町総合計画の改定時期(令和12年)を目安に行うこととします。

PDCAサイクル

●道路整備計画の見直し

- 道路整備の進捗確認
- 関連計画の動向確認
- 社会経済情勢、ニーズの変化の確認



●道路整備計画の立案

●事業化の検討
および実施